



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。(聖書より)



## 巻頭言「子どもの幸せを願うなら」

NPO 法人 NCM ジャパン代表理事 篠澤忠俊

子どもの幸せを願うとき、私たち大人は「子どもは守られる存在である」という考え方だけでなく、「子ども自身も周囲を思い、気を配って生きている存在である」ことを知る必要があります。

小さな子どもであっても、その年齢なりに

「親を悲しませてはいけない」

「迷惑をかけてはいけない」

と考え、親や大人の表情や言葉を敏感に感じ取っています。

近年、いじめや虐待といった問題が社会的に深刻化していますが、その背景には、こうした子どもの思いや沈黙が見過ごされてきた現実があります。

苦しさを抱えていても、大人を気遣うあまり声を上げられない子どもは少なくありません。

親だけが子どものことを考えているのではなく、子どももまた懸命に考えています。

その思いを大人が理解し、存在そのものを認めることができます、子どもが健やかに育つ土台となります。

子どもを尊重する社会  
こそが、子どもの幸せを  
守る社会だと考えます。



## ●京都キワニスクラブ「社会公益者賞」受賞しました。

このたび、NPO 法人 NCM ジャパン京都事務所がこれまで継続して行ってきた子ども支援の取り組みが評価され、京都キワニスクラブ様より「社会公益賞」を贈呈していただきました。京都キワニスクラブは、地域社会への奉仕を目的に活動する団体で、教育や福祉などの分野において、社会のために尽力している個人や団体を支援・表彰しています。「社会公益賞」は、公共性の高い活動を通して地域に良い影響を与え、社会課題の解決に貢献している取り組みに対して贈られる賞です。NCM ジャパン京都事務所では、家庭環境や経済的な事情、学校生活での悩みなど、さまざまな背景を持つ子どもたちを対象に、学習支援や居場所づくり、体験活動を行ってきました。

放課後や休日に安心して過ごせる場を提供し、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、自信や意欲を育むことを大切にしています。また、自然体験や交流活動を通して、子どもたちが新しい価値観に触れ、視野を広げる機会も設けてきました。

こうした活動は、スタッフだけでなく、多くのボランティアや地域の方々の協力によって支えられています。子どもを支援するだけでなく、地域全体で子どもを見守る関係づくりを進めてきた点も、今回の受賞につながったものと考えています。今回の受賞は、日々の地道な取り組みが社会的に意義あるものとして認められた結果であり、私たちにとって大きな励みとなりました。活動を支えてくださっているすべての皆様に心より感謝申し上げます。今後もこの受賞を励みに、子どもたちが安心して成長できる社会の実現に向け、より一層活動を続けてまいります。



# ～夏の島活プロジェクト 第5回～

島活プロジェクトは、北海道の利尻島や礼文島を訪れ、島の自然や人々との交流を通して子ども・特にひとり親家庭の子どもの学びを深める活動です。このプロジェクトは、子どもや学生が実際に島を訪れ、普段の生活ではなかなか触れることのできない自然環境や、島で暮らす方々の思いに触れることで、環境問題や地域社会について考えるきっかけをつくることを目的としています。

2025年8月の訪問では、稚内・利尻島・礼文島を巡り、自然観察や博物館見学、トレッキングなどの活動を行いました。礼文島では、標高の低い場所にもかかわらず多くの高山植物が育つという特徴的な自然環境について学びました。実際に植物を観察しながら、気候や地形が植生に与える影響を知ることができ、自然の成り立ちへの理解が深りました。

一方、利尻島では湿原や海岸を訪れ、火山活動によって形成された地形や、寒冷地ならではの植物を観察しました。また、外来種が自然環境に与える影響についても学び、自然を守るための取り組みの重要性を実感しました。さらに、島の子どもたちとの交流も大きな活動の一つでした。京都や関西の文化について紹介するプレゼンを行い、食べ物や行事、街の様子などを伝えた後、一緒にデザート作りをしました。最初はお互いに緊張していましたが、調理を通して自然と会話が生まれ、次第に打ち解けていきました。島の子どもたちの話を聞く中で、学校生活や遊び、将来の夢などについて知ることができ、地域による暮らしの違いを身近に感じる機会となりました。

これらの体験を通して、自然を学ぶことと、人と関わることの両方が、地域への理解を深めるうえで欠かせないものであると感じました。島活プロジェクトは、参加者一人ひとりが学びや気づきを得ながら、人と自然、そして地域をつなぐ大切な役割を果たしている活動だと言えます。

立命館大学 吉山音々



利尻あそびどころの子ども達との交流



利尻町立博物館さまとの交流と意見交換



礼文島で外来種の調査とトレッキング。

観光と島外からもたらされる外来種は切り離せない。島を訪れる事で様々な課題を青年たちは五感で感じていました。

※外来種とは人間活動によって本来生息しない場所に移動させられた生き物を指します(人間には適用されません)

# ～マレーシアで活動する NCM 観察報告～



難民の子どもたち。NCM の支援で希望を信じる事ができた子ども達の笑顔が印象的でした。



アジア・太平洋地区の各地で活動する NCM の仲間たち

日本からマレーシア・ペナンを訪問し、現地の状況を観察する中で、社会制度や宗教的・文化的背景の影響により、支援が行き届きにくい場所が確かに存在していることを強く感じました。多民族・多宗教国家として知られるマレーシアは、外から見ると寛容で安定した社会のように映りますが、その一方で、定住の基盤を持たない人々や、法的に不安定な立場に置かれている家族は、公的な教育や医療、福祉制度に十分にアクセスできない状況に置かれています。

今回観察した地域では、そうした環境の中でも特に支援が難しいとされる人々に対して、慎重かつ継続的な取り組みが行われていました。活動は社会的な配慮から大きく発信されることなく、外部からは見えにくい形で進められていますが、子どもたちが安心して学べる学習の場の確保や、日常生活を維持するための基礎的な支援が、長い時間をかけて積み重ねられている様子を知りました。

これらの支援活動は、Nazarene Compassionate Ministries (NCM) が掲げる理念に基づいて実施されています。NCM は、困難な状況に置かれている人々を一時的に支援するだけでなく、その人が本来持っている力を大切にし、地域に根差した関わりを通して生活の回復と将来への可能性を支えることを重視しています。

現地では、この理念が具体的な行動として表れており、支援の対象となる人々の背景や信条に踏み込むことなく、文化や慣習を尊重しながら必要な支援を丁寧に届ける姿勢が一貫していました。

観察を通して、こうした取り組みは短期間で成果が見えるものではなく、時間と忍耐を要する活動であることも理解できました。支援の成果は数値や統計で簡単に示せるものではありませんが、学ぶ機会を得た子どもたちが少しずつ将来への希望を持ち始めていることや、家庭が以前よりも落ち着いた生活を送れるようになっていることなど、日常の変化として確実に表れていると感じました。

また、支援に関わる人々が地域社会との信頼関係を大切にしながら活動を続けている点も、印象に残りました。

日本から見ると、これらの課題は地理的にも心理的にも距離のある問題に感じられるかもしれません。しかし現地を実際に訪れることで、支援が最も届きにくい場所にこそ、長期的で粘り強い関わりが必要であることを実感しました。NCM の理念に基づくこれらの活動は、派手さや即効性を求めるものではありませんが、地域社会の中でも静かに、しかし確実に人々の生活を支え、次の世代へつながる土台を築いている取り組みであると再認識しました。

NCM ジャパン国際支援 篠澤俊一郎

世界の NCM の活動はこちらから知る事が出来ます。  
<https://ncm.org/>



# ●NCM ジャパン25年度活動報告

NCM ジャパンは現在事業を行っている京都事務所の活動を主としています。特に子ども支援においては、花園キリスト教会運営の花園教会水族館および花園ジョイフル子ども会と連携し、地域の子どもたちを支える取り組みを続けています。その活動の中で、三年間不登校だった一人の小学生が、大きな一步を踏み出しました。安心して過ごせる居場所と、あたたかく受け止めてくれる大人や仲間との出会いにより、少しずつ心がほぐれていきました。友達と遊ぶ楽しさを思い出し、「人と関わることは楽しい」と感じられるようになった結果、支援開始から3か月で学校への復帰を果たしました。

また、京都事務所による学習支援を通して、勉強にも前向きに取り組めるようになり、理解できることが増えるにつれて自信が育っていきました。ひとり親家庭という環境の中でも、子どもの変化は家庭全体に良い影響を与え、会話や笑顔が増えるなど、明るい雰囲気が生まれています。この子ども支援は、子どもとその家族に、未来への希望と、新しい一步を踏み出す勇気を届けるものとなりました。

<2025年会計報告>

【収入・支出概要】		【主な収入内訳】	
区分	金額(円)	内容	金額(円)
収入(会費・寄附金・補助金等)	622,070	会費	252,000
支出(事業活動・運営管理費)	1,205,360	補助金・寄附金	370,000
収支差額	▲583,290	その他	70

第10期は、事業活動の拡充に伴い事業費が増加し、当期収支は▲583,290円となりました。

なお、不足分については繰越資金を活用し対応しております。

今後は収入基盤の安定化と支出の適正化を図り、健全な運営に努めてまいります。

## 活動の原動力は賛助会員です!

NCM ジャパンの活動:

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しくお願ひいたします。

### お申込み方法

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい  
NCM ジャパン事務局  
・メール ncmjapan.ncm@gmail.com

### <<口座が変わりました!!>>

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行  
【口座番号】00190-8-421766  
【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

### ●他の金融機関

【店名】019(ゼロイチク)  
【店番】019  
【預金種目】当座預金  
【口座番号】0421766(※末尾の1は不要)

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000円	6,000円/口
団体・法人	2000円	30,000円/口

発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤忠俊

東京事務所 東京都中野区弥生町 2-39-11

京都事務所 京都市右京区太秦安井辻ノ内町 10 番地 1 号

メール:ncmjapan.ncm@gmail.com

HP:<https://www.ncmjapan.org/> SNS:Twitter @ncmjapan